

いま、地球は国家という枠組みを越えて環境変動のなかにあるといわれています。

それでも私たちはこの宇宙船地球号を離れて生きることはできません。

70億を越える人類、その文化や文明、そしてすべての地球上の生き物たちとともにつくる環境。

その地球を外から観るといふ経験は、私たちの意識を大きく変えるとともに、

いまだ「幼年期」にある意識の転換を示唆するものでもあります。

この機に、「触れる地球」を通して世界の現状を可視化する竹村真一教授をモデレーターに、

宇宙飛行士の山崎直子さん、海洋生物の第一人者荒井一利さんをお招きし、

「宇宙・地球、そして海」、奇跡の惑星に生きる私たち自身へ向けた

メッセージをお送りしたいとおもいます。

◎「触れる地球」デモンストレーション（竹村真一）

◎対談：山崎直子 × 竹村真一

◎鼎談：山崎直子 × 荒井一利 × 竹村真一



竹村真一 Shinichi Takemura

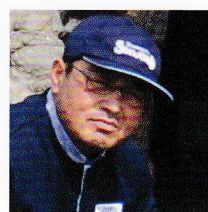
京都造形芸術大学教授。Earth Literacy Program代表。地球時代の新たな「人間学」を提起しつつ、ITを駆使した地球環境問題への独自の取組みを進める。

「触れる地球」や「100万人のキャンドルナイト」、「Water展」「コム展」(＠六本木ミッドタウン・デザインサイト21\_21)などを企画・制作。2014年2月、東京丸の内に「触れる地球ミュージアム」を開設。東日本大震災後、政府の「復興構想会議」専門委員に就任。また国連UNISDR(国連防災機構)より「国連防災白書2013」のコンセプトデザイン・ディレクターに指名される。著書に「地球の目線」「宇宙樹」「22世紀のグランドデザイン」「地球を聴く」(坂本龍一氏との対談:日経新聞社刊)など。「宇宙樹」は高校の国語の教科書にも採録されている。竹村真一プロジェクトサイト: <http://www.elp.or.jp/>



山崎直子 Naoko Yamazaki

宇宙飛行士。千葉県松戸市生まれ。1999年国際宇宙ステーション(ISS)の宇宙飛行士候補者に選ばれ、2001年認定。2004年ソユーズ宇宙船運航技術者、2006年スペースシャトル搭乗運用技術者の資格を取得。2010年4月、スペースシャトル・ディスカバリー号で宇宙へ。ISS組立補給ミッションSTS-131に従事した。2011年8月JAXA退職。内閣府宇宙政策委員会委員、日本宇宙少年団(YAC)アドバイザー、松戸市民会館名誉館長などを務める。著書に「宇宙飛行士になる勉強法」(中央公論新社)、「夢をつなぐ」(角川書店)、「瑠璃色の星」(世界文化社)など。



荒井一利 Kazutoshi Arai

鴨川シーワールド総支配人・館長／公益社団法人日本動物園水族館協会会長。79年北海道大学水産学部増殖学科卒業。同年鴨川シーワールド入社。05年同副館長。07年同館長に就任。08年より国際海洋生物研究所所長を兼務しながら、12年鴨川シーワールド総支配人兼館長を務める。また、千葉県博物館協会会長、社団法人日本動物園水族館協会(JAZA)理事、副会長などを歴任し、14年より会長に就任。39年の同協会発足以来、初めて水族館からの会長に就任となる。動物園水族館の発展、日本の科学と文化、自然環境の保全に尽力するとともに、世界動物園水族館協会委員、国際種情報システムISIS理事など、国際的にも重責を担う。

## ■ 関連企画のご案内

### 竹村真一「触れる地球」展

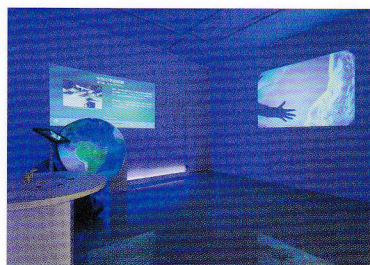
2014年7月24日[水] - 9月15日[月・祝]

11:00-19:00

グランビスタギャラリー サッポロ

札幌グランドホテル 1階

<http://www.grand1934.com/gallery/>



**SAPPORO GRAND HOTEL**  
by GRANVISTA

札幌グランドホテル 〒060-0001 北海道札幌市中央区北1条西4丁目  
Tel.011-261-3311 <http://www.grand1934.com>

GRANVISTA  
GALLERY  
sapporo